

皮膚科

(スタッフ)

部長：石川 一志
副部長：生野 知子
嘱託医：高木 杏子（11月から）
：内村 公美（11月まで）
専攻医：津田 修志

(診療実績)

現在皮膚科では日本皮膚科学会専門医2名を含む医師4名体制で診療しています。外来は月、水、金曜日に行っており、緊急対応が必要な場合には上記以外の日でも対応しています。

2024年は多くの病院、クリニックから紹介頂き、紹介患者数は2023年と比較して増加傾向にありました（表1）。コロナウイルスが猛威を振るっていた数年前と比較しても外来患者数、入院患者数いずれも増加傾向にあります。手術件数も昨年と比較して増加傾向にあり、特に皮膚悪性腫瘍の手術件数が増加しております。これは皮膚科の先生だけではなく、皮膚科以外の多くの先生方から紹介頂いていることが件数の増加に繋がっています。今後も多くの患者を紹介頂けるよう、丁寧な診察を心がけていく所存です。

外来疾患は多岐にわたりますが、生物学的製剤承認施設としてアトピー性皮膚炎や尋常性乾癬、乾癬性関節炎に対する生物学的製剤による治療を積極的に行ってています。入院疾患に関しては帯状疱疹、蜂窩織炎などの感染症疾患が例年通り多くみられました（表2）。マムシ咬傷やアナフィラキシーショック等の致死性疾患に対しても救急科と連携し対応しています。検査入院に関しては即時型アレルギーの原因精査の為の皮膚テストを行っており、本年も12症例の検査を行いました。手術に関しては基底細胞がんや有棘細胞がんなどの悪性腫瘍や皮膚良性腫瘍多くの疾患に対して手術加療を行っています。手術は火曜日、木曜日に行っており、昨年は186件の手術を行いました。救急加療に対しては、24時間、365日の皮膚科関連の救急疾患に応対しており、アナフィラキシーや薬疹など緊急で入院加療が必要な疾患すべてに対応しています。

表1 診療実績の推移

		2021年	2022年	2023年	2024年	対前年比率
外来	延べ外来患者数(人)	10,209	10,338	10,744	13,179	123%
	新外来患者数(人)	1,036	996	1,010	1,232	122%
	紹介患者数(人)	479	441	600	822	137%
入院	延べ入院患者数(人)	1,938	2,140	2,714	4,023	148%
手術	手術室手術件数(件)	51	59	143	186	130%

表2 入院患者病名内訳

（入院患者総数 383人）
(単位:人)

病名	患者数	病名	患者数
皮膚悪性腫瘍	83	成人水痘	2
帯状疱疹	81	尋常性乾癬	2
蜂窩織炎	69	日本紅斑熱	2
薬疹、中毒疹	23	ペーチェット病	2
皮膚良性腫瘍	22	結節性紅斑	1
天疱瘡、類天疱瘡	20	挫創	1
アナフィラキシー	17	膿疱性乾癬	1
荨麻疹	7	高エネルギー外傷	1
円形脱毛症	6	ヘビ咬傷	1
慢性湿疹、痒疹	6	単純疱疹	1
下腿潰瘍	6	カボジ水痘様発疹症	1
IgA 血管炎	5	慢性光線性皮膚炎	1
食物アレルギー	5	壞疽性膿皮症	1
アトピー性皮膚炎	4	全身性エリテマトーデス	1
臀部皮膚潰瘍	3	乾癬性関節炎	1
熱傷	2	その他	5

(今後の方向性)

当院は大分市でも数少ない皮膚科専門医が常駐する総合病院です。特に開業医、皮膚科以外の先生方での対応が難しく、総合病院での対応が必要な疾患を中心に加療を行っています。また当院の特徴は24時間患者の対応が行える点であり、今後も紹介頂くすべての患者に対して質の高い医療を提供し、大分県の医療に少しでも貢献できるように努力していく所存です。お困りの際には誠意を持って対応させて頂きますので、是非とも多くの患者の紹介を宜しくお願い致します。

（文責：石川一志）